



まびっこ KIBIKKO

◎特集

まびっこ通信



新年あけましておめでとうございます

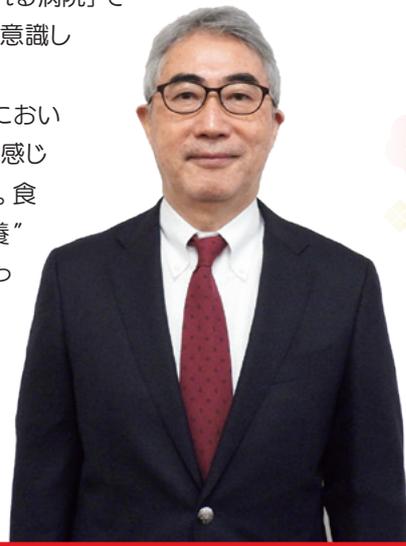
昨年は、全国の病院のおよそ七割が赤字といわれ、多くの医療機関が厳しい経営状況に直面しました。給食費や水道光熱費、医療材料費などの高騰も重なり、吉備病院を取り巻く社会情勢も依然として厳しい状況にあります。

しかしながら、私たちが決して忘れてはならないのは、「地域に親しまれ、信頼される病院」であり続けることです。患者さん、利用者さんのために何を最優先にすべきかを常に意識しながら、日々の業務に励んでまいりたいと思います。

今年、吉備病院は開院二十周年を迎えます。院内業務はもちろん、院外での活動においても、スタッフ一人ひとりの創意工夫によって、まだまだ新しい取り組みができると感じています。たとえば、本年は新たに「認定栄養ケア・ステーション」を開設いたします。食事は生きるために欠かせないだけでなく、楽しみや喜びをもたらす“心の栄養”でもあります。食を通じて、地域の皆さまのよろず相談所のような場となることを願っています。

ようやく二十歳を迎え、大人の仲間入りをしたばかりの病院です。引き続き、本年も新しいことに果敢にチャレンジし、病院の枠を越えて地域へと飛び出し、地域の皆さまから選ばれる“楽しい病院”を目指してまいります。

済生会吉備病院 院長 難波 洋一郎



新年の抱負

看護部は、患者さんがその人らしく日常生活を続けられるよう、日々のケアを大切にしています。現在行っている「しているCare」を見つめ直し、より良いケアへとつなげる基盤づくりを進めています。対象となるのは、機能障害や認知症を併せ持つ高齢の患者さんご家族です。食べることの支援では、口腔環境を整え、飲み込む力の維持・回復を図りながら、食べる意欲が少しでも戻るよう、多職種で力を合わせて取り組んでいます。また、望まれる療養先へ進めるよう、生活動作、とくにトイレ動作の自立を重点的に支援しています。

患者さんのそばで温かく寄り添う看護を大切にするため、当院ではセル看護提供方式[®]を取り入れています。セル看護では、看護師が患者さんを継続して受け持ち、その方の入院生活に寄り添いながら、きめ細やかなケアを行います。そしてこれからは、地域の皆さまに選んでいただける病院を目指してまいります。

総看護師長
森 真須美



当院は小規模ではありますが、患者さんお一人おひとりに寄り添い、「生活の再構築」を支える医療を目指してまいりました。地域の皆さまの健康と暮らしを守ることが、私たちの使命であり誇りです。

令和8年度は、地域社会のニーズがますます多様化し、『新しい地域医療構想』の実現に向けた診療報酬改定も始まります。こうした変化に対応しながら、これまで培ってきたチーム医療の力を活かし、皆さまに安心して「ここで良かった」と思っただけの病院づくりを進めてまいります。

「地域に親しまれ、信頼される病院」という理念のもと、今年も職員一同、皆さまとともに歩み、より良い医療サービスを提供してまいります。

どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。

事務長

白神 大輔



午年を迎え、リハビリでは馬のように「力強く前進する一年」をスタートします。馬の粘り強さとチームワークを胸に、患者さんの「歩きたい」というはじめの一步を支えてまいります。

リハビリは時にスローペースになることもありますが、精神的なサポートも忘れずに行っていきます。馬が集団で助け合うように、私たち療法士や多職種チームが一丸となり、患者さんの「もう一度」への道のりに寄り添います。

力強く、そして確かな歩みで、その人らしい日常生活を取り戻すお手伝いをしてまいります。ゴールは同じでも、歩むペースは人それぞれです。療法士は患者さんのペースメーカーとして、喜ぶ姿を見るために回復の道のりをともに進んでまいります。

医療は大きな変化の時代を迎えていますが、変化を恐れず、慌てることなく、柔軟な対応を心がけてまいります。

リハビリテーションセンター
技師長補佐
野上 達矢





令和7年度永年勤続表彰

臨床工学科 技士長補佐 上田 貴美子

岡山県済生会創立87周年記念式典において、永年勤続表彰を賜りました。

吉備病院からは、30年勤続表彰として外科の高畑隆臣先生、整形外科(非常勤)の林正典先生、そして私の3名、20年勤続表彰とし

て内科の古藤直紀先生、さらに10年勤続表彰者4名、5年勤続表彰者4名が表彰を受けました。

この30年を振り返りますと、常に人に恵まれてきたことを実感いたします。急患への緊急呼び出し、2016年に移転した岡山済生会総合病院の建設準備、そしてコロナ禍など、いずれも大きな試練ではありましたが、善き同僚や上司・先輩に支えられたからこそ乗り越えることができました。

吉備病院に赴任して5年目となり、こちらでも新たにご縁に恵まれ、職員の方々とともに使命を果たすことができいております。これまで出会った先輩方、支え合える仲間、そして笑顔をくださる患者さんに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。



後列左から 院長 高畑 林 古藤
前列左から 上田 坂口

ごっくん外来チーム「創立50周年記念大和・間野基金 団体賞 業務奨励賞」

リハビリテーションセンター 主任 言語聴覚士 坂口 和馬



当院では摂食嚥下の専門外来「ごっくん外来」を2023年2月に開設いたしました。嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査に加え、必要に応じて入院・外来でのリハビリまで一連の流れを確立し、地域の皆さんに安心して受診していただける体制を整えております。



また月に一度、開業医との連携を目的に当院の言語聴覚士をなかむら耳鼻咽喉科へ派遣し、診療補助を行っております。現在では「ごっくん外来」が広く周知され、月に3件ほどの予約をいただくようになり、地域の「食」を支える一助となれて嬉しく思います。今後も使命を胸に、地域の健康づくりに貢献してまいります。

～無料低額診療事業のご案内～

当院は社会福祉法人の病院です。社会福祉法に基づき医療費のお支払いに困っている方を対象に、医療費の自己負担を減免する「無料または低額診療事業」を行っています。医療ソーシャルワーカーが相談をお受けしていますので、遠慮なくお申し出ください。



相談窓口 ※相談は無料です 月～金 8:30～17:00 1F総合案内または医療福祉課まで



第49回日本高次脳機能学会学術総会で受賞

リハビリテーションセンター 副主任 作業療法士 中野 広隆



2025年11月14日～15日に開催された第49回日本高次脳機能学会学術総会において、当院の研究成果を発表いたしました(参加者約500名)。

研究の内容は、脳血管疾患患者の神経心理学検査と実際の運転能力にどの程度関係があるのかを明らかにすることです。地域において車は生活に不可欠であることから、高次脳機能障害が運転に及ぼす影響を検証する必要性を感じ、研究を開始しました。

今回、「神経心理学検査と実車評価における車両位置の関連」をテーマに発表し、優秀ポスター賞を受賞いたしました。参加者からは、適切なサンプル数と統計処理に基づいた信頼性の高い研究であると評価され、当院の実

車評価をモデルにしたいとの声もいただきました。

今後は、車両感覚に加え、事故リスクの高い交差点進入との関連についても検討を進め、当院の運転支援の質向上を図ってまいります。また、高齢者の運転能力低下予防にも継続して取り組んでまいります。

今回の受賞は、多職種の連携の成果であり、関わったすべてのスタッフに深く感謝申し上げます。

アジア嚥下学会国際カンファレンスに参加

リハビリテーションセンター 主任 言語聴覚士 坂口 和馬



バンコク市内
陸橋から



この度、2025年11月6日から8日までバンコク(タイ)で開催された「Asian Dysphagia Society (ADS:アジア嚥下学会国際カンファレンス) 2025」に参加し、研究成果を発表しました。ADSはアジア11カ国が参加する嚥下障害に関する国際学会です。初めての海外渡航で不安でしたが、到着早々に予約済みのタクシーに乗ることができないトラブルに見舞われ、警察にお世話になる事態となりました。その後、別のタクシーでホテルへ向かう途中、高速道路を猛烈な速度で走行する運転に驚くなど、強いカルチャーショックを受けました。学会では、「日常の摂食・嚥下リハビリテーションにおける臨床的ジレンマ」を題材に、その解決策と成功事例のポスター

発表を行いました。多くの参加者から予想以上に活発な質問と議論をいただき、我々の取り組みに対する国際的な関心の高さを実感するとともに、研究の方向性に対する確信を得ることができました。今後は、いただいた貴重なご意見を活かして内容をさらに深化させ、症例を蓄積し、国際学術誌への論文発表を目指してまいります。加えて、今回は可能な限り現地の方々と英語でコミュニケーションを取ること目標としていました。「微笑みの国」と呼ばれるタイの方々の温かさに触れ、大変充実した経験となりました。



ADS 会長 才藤栄一先生と

地域と田 つながる

業務課 難波 美紀
栄養科 片岡 瑛子



中学生職場体験(11月11日~13日)

岡山市立高松中学校の生徒3名が、吉備病院での職場体験に参加しました。

「チームで医療に関わる職業に夢を描く中学生の夢をはぐくむお手伝いをしよう」と発足した『きびドリサポチーム』を中心に、3日間にわたり各部署での体験を行いました。

今回で3年目となるこの取り組みは、生徒さんが医療の現場に触れ、夢を後押しする貴重な機会となりました。体験後にいただいたお手紙には、感謝の言葉とともに「職員の方が仕事に対するプライドと責任をもって働く姿を見て、医療の仕事に興味を持ちました」との嬉しい言葉が添えられていました。

この言葉は、私たち職員にとっても大きな励みとなりました。

今後も病院全体で協力しながら、中学生の夢をはぐくむ活動を続けてまいります。

糖尿病教室開催(11月14日)

『World Diabetes Day(ワールドダイアベティスデイ:世界糖尿病デー)』にあわせて糖尿病教室を開催しました。

当院で糖尿病療養指導士の資格を持つ理学療法士藤井と管理栄養士河崎が講師を務めました。「人生を健やかに生きるには“ダイアベティス(糖尿病)”と“やせ”の関係を知ろう!」というテーマで行いました。7名の方に参加いただき、終始和やかな雰囲気でした。最後の質問タイムでは日頃の疑問や悩みごとがあがり、皆さん共感されていました。アンケートでは「勉強になった。参加して良かった」と好評でした。私自身も新しい知識を学び、充実した時間をともに過ごさせていただきました。



当院では定期的に健康教室を開催しております。地域の皆様のご参加をお待ちしております。



クリスマスコンサートを開催(12月20日)

高松中学校吹奏楽部の生徒さんと岡山ヴェルデウインドアンサンブル団員の方々によるコンサートを開催しました!入院患者さんとそのご家族、職員で大盛況でした。アニメソングから始まり、ドリフの曲、早口言葉を交えた演奏、今回も『故郷』を会場にいる皆さんと大合唱し、最後はクリスマスメロディーで締めくくりと盛りだくさんでした。迫力ある演奏の中、笑いあり、涙ありのあつという間の時間でした。皆さん、リズムに合わせて手拍子をしたり体を動かしたり、口ずさんだり楽しく素敵な時間を過ごされています。





筋力アップ&リラックス!

理学療法士 片山 亜沙美



はじめに

日常生活の中で、無理なく体を動かすことは、健康の維持・向上にとっても大切です。今回の『ワンポイントリハ』では椅子に座ったままでも行える準備体操・筋力運動・整理運動をご紹介します。どれも短時間でできる簡単な運動ばかりですが、続けることで血流改善・転倒予防・姿勢保持などに効果が期待できます。体調に合わせて、できる範囲でゆっくりと行ってみましょう。

準備体操

① 深呼吸

鼻から息を吸いながら両腕を前から上げ、息を吐きながら横に降ろす。



② 肩と脇腹を伸ばす運動

片手を頭の上に上げる。上げた手の方向と反対側へ体をゆっくり倒す。



③ 股関節の運動

膝を抱えて胸に引き寄せる。



筋力運動

① 腕を横に上げる運動

飲み物が入ったペットボトルを両手で持ち、肩の高さまで腕を上げ、元の位置まで腕を下ろす。



② 膝を伸ばす運動

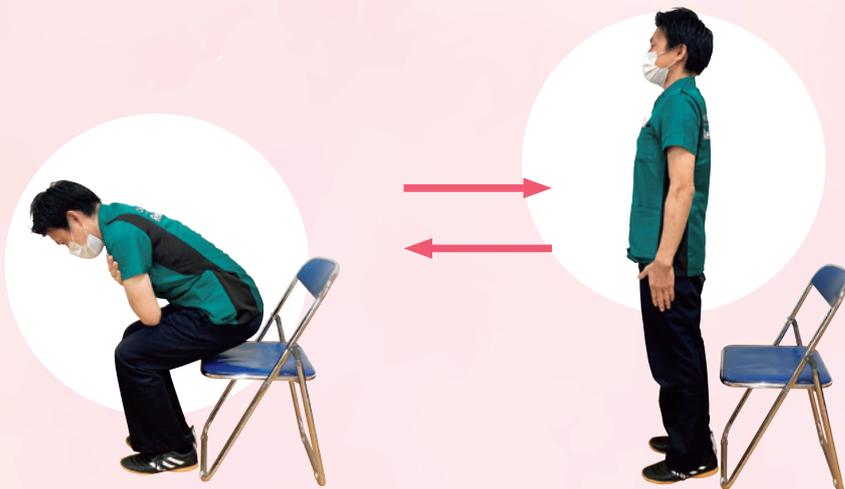
膝を伸ばし、つま先をしっかり自分の方に向けるようにする。元の位置に戻す。



健康づくり運動

③ 椅子からの立ち上がり

両足を肩幅程度に開く。ゆっくりと立ち上がる、ゆっくりと座る。



整理運動

① 手首・腕のストレッチ

腕を前に伸ばし、反対の手を使って手首を伸ばす。



② 太もも裏のストレッチ

椅子に浅く腰を掛けて足を斜め前に伸ばす。



③ 首の運動

ゆっくりと首を回す。



おわりに

継続的な運動は、体力の維持だけではなく、心身のリフレッシュにもなります。日々の生活の中に少しずつ取り入れることで、健康寿命の延伸や生活の質の向上が期待できます。1日5分でも構いません。毎日の積み重ねがしっかりとした体づくりにつながります。

ご自身の体調に合わせ、無理のない範囲で実践してみてください。

透析室

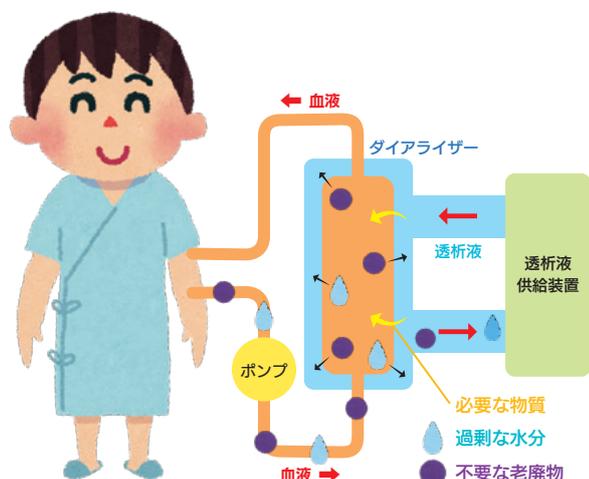


広報KPR 松本

当院の透析室では、腎臓の機能が悪くなり透析治療が必要な方の治療を行っています。透析患者さんに安心安全に変わらない日常を過ごしてもらうために日々スタッフ一同頑張っています！
では、血液透析について簡単にお話しします。

血液透析とは

腎臓の動きが悪くなった患者に対して行われる治療です。体に不必要な水分や老廃物を機械を使って除去していきます。



当院の透析

現在透析室には医師2名、看護師5名、臨床工学技士2名が常駐しています。月1回のレントゲン検査と管理栄養士による栄養指導も行っています。
透析室は写真のようになっており、機械は全部で13台あります。



患者さんが毎日安全に透析ができるように日々確認と点検を行っています。
透析歴が長い患者さんになると慣れてきてベッドの上でも自由に過ごしています。



透析室内にはデイルームがあります

入室まで待ち時間や透析後に休憩されたいときなどにゆっくりできる部屋になっています。壁一面には、ある患者さんがお一人で季節ごとに合わせて作った折り紙が飾ってあり、他の患者さんやスタッフにも好評です！



検査室



臨床検査技師 平松

検査室には常勤とパートの臨床検査技師がおり、2人で日々頑張っています。当院で検査できない腫瘍マーカー、肝炎、甲状腺などの血液検査は採血後、責任を持って岡山済生会外来センター病院へ搬送して検査しておりますので、ご安心ください。

当院で行う検査

検体検査

血液検査

肝機能、腎機能、糖尿病、貧血などを調べる

尿検査

尿糖、尿蛋白などを調べる

生理検査

心電図検査

超音波検査

脈波検査

肺機能検査

電子カルテは岡山済生会総合病院・岡山済生会外来センター病院とつながっているので、当院での診察内容、検査内容は共有されています。そのため、紹介で受診される場合もスムーズな診察が可能です。

それから、軽度認知障害、認知症は高齢化が進む当院がある高松地区では避けては通れない病気です。今後当院でも「もの忘れ外来」を開設する予定で、「認知症が心配」という患者さんの最初の相談に乗れるような体制を築きたいと考えています。私は「認知症予防臨床検査技師」と「認定認知症領域検査技師」という資格を持っているので、その資格を患者さんのために発揮できればと思います。

これからも患者さんのかかりつけ検査室としてちょっとした心配ごとをお聞きできればと思っていますので遠慮なくご相談ください。

左が平松、右が脇本
今月からユニフォームが新しくなりました！



ひとこと



昨今、臨床検査技師は採血も制度上できるようになりました。当院でも採血室の看板娘(失笑)として採血をしています。定期的に採血・受診に来られる患者さんから私が休みの時、「いつものお姉さん(お気遣いありがとうございます(笑))は？」と気にかけていただいているようで、臨床検査技師冥利につきます。採血中に先生には遠慮して言えなかったことを患者さんが話されることもあるので気を許していただいているのだなあと嬉しく思います。(内容によっては先生にお伝えしています)

管理栄養士が教える

きび 栄養 レシピ



管理栄養士 喜来 保香

今回は鶏むね肉と冬野菜を使ったご飯がすすむ一品です。鶏むね肉は、マヨネーズに漬け込むことでやわらかくなり、野菜は蒸すことで栄養の損失を抑えることができます。また、この一皿で良質なたんぱく質、脂質、ビタミン、食物繊維が摂れます。ご家庭にある野菜を使ってぜひ作ってみてください♪

鶏むね肉と冬野菜のポン酢マヨソテー

材料 [2人分]

鶏むね肉	140g
ポン酢	大さじ2
マヨネーズ	大さじ2
ブロッコリー	1/3房
人参	1/4本
白ネギ	1/3本
まいたけ	1/3パック
白ゴマ	小さじ1
水	大さじ1

栄養情報(1人分)

エネルギー	: 220kcal
たんぱく質	: 20.0g
脂質	: 12.0g
炭水化物	: 10.0g
食塩相当量	: 1.6g

作り方

- 1 鶏むね肉を一口大の大きさにそぎ切りにしボールに入れ、ポン酢とマヨネーズと混ぜ合わせ、約10分漬け込む。
- 2 ブロッコリーを小さめの小房に分ける。人参は乱切りにする。白ネギは4cmに切り、まいたけは石づきをとってほぐす。
- 3 フライパンを熱し、①の鶏むね肉を両面焼く。火が通ったら、ブロッコリーと人参と水大さじ1を加え、蓋をして中火で約3分、野菜がやわらかくなるまで蒸し焼きにする。
- 4 最後に、白ネギ、まいたけ、白ゴマ、①の残りのタレも加えて炒める。



いちびこ農園

診療放射線技師 赤木 千秋

前号の太閤岩をぶらりめぐりして見つけたいちごの直売所が、吉備病院から近く、国道180号線より少し北の山すそにあります。そこには、[ゆめのか]と[おいベリー]の2品種のいちごがあり、どちらも甘くてしっかりといちごの味がして美味しいの一言です。

いろいろなお店にも出荷しているそうですが、直接、真っ赤なもぎたての甘い香りのいちごに出会えます。ぜひ、美味しいいちごをご堪能ください。

園主の藤岡さん

化学農薬にできるだけ頼らない減農薬農法に力を入れていちごを栽培しています。皆様に安心・安全で美味しいと言っていただけるいちごづくりが人生の目標です。
(パンフレットより一部引用)



Instagram



電話番号 / 090-7028-7842

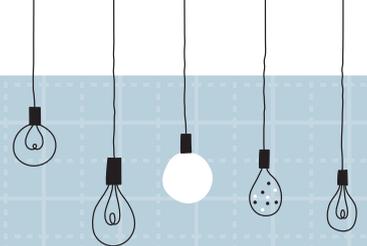
営業時間 / 月・水・金 11:00~15:00

12月末~5月中旬まで営業 (いちごがなくなり次第、営業終了)

住所 / 岡山市北区立田599-1

Instagram @ichibico.farm

きびPhoto

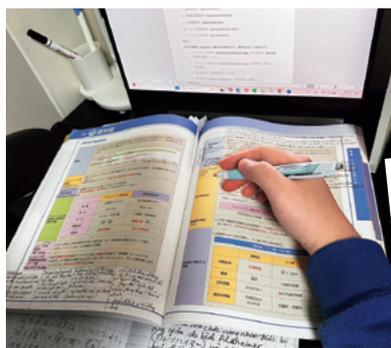


職員が写真を投稿するコーナー「きびフォト」です。
毎号テーマを決めて、素敵な写真を掲載します。

テーマ

今年〇〇します！

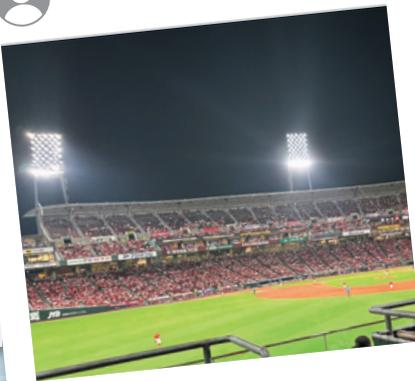
 N・D



資格試験に挑戦します。
国家試験 # 猛勉強中 # 絶対受かるぞ

 A・K



今年、行ったことのない球場で野球観戦をします！
野球 # スポーツ観戦 # カーブ

 T・K



今年弥山に御参りします
宮島登山 # 消えずの火

 M・Y



陶芸教室で芸術センスを磨きます！
挑戦 # 陶芸教室

 A・C



【かわいいばあば】がんばります！
初孫 # 初夏 # ワクワク
おもちゃ # ベビー服

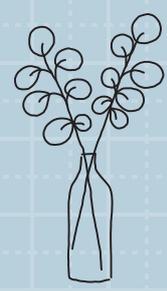
 N・M



今年こそは、手作りカステラ作りますw
台湾カステラ # 手作りキット
マンスリークラブ

Cheese! 





わたしの
オフタイム

イタリア旅行記

リハビリテーションセンター 作業療法士 白井 圭

2025年12月7日から14日までの8日間、休暇を使って憧れのイタリア旅行に行ってきました。旅行はツアーであり、イタリア4つの都市、ミラノ、ヴェネツィア、フィレンツェ、ローマの順に周遊するプランでした。イタリアの魅力として強く感じたのは美術品の多さと建造物の壮大さです。街の至る所に教会などの歴史的な建物や美術館があり、そのどれもが息を呑むほど美しいものでした。そして建物が物凄く大きいのです。大きいのに加え壁や天井の至る所に絵画が描かれ、装飾も芸を凝らしたものとなっており、細部まで美にこだわる探求心に驚嘆しました。また、12月に訪れたということもあり、クリスマスの飾りつけが街全体にされていて、同じ通りでも日中と夜間で景色が変わり、ただ散歩するだけでも楽しく時間はあっという間に過ぎ去ってしまいました。一度だけでは見切れないほど見どころだらけの国イタリア。また仕事を頑張っている日か訪れたいです。



レッツ脳トレ!



脳のトレーニングにチャレンジ!
楽しく認知症を
予防しましょう!
答えはホームページに
掲載します。



ちがいは5箇所あります



編集 後記

新年あけましておめでとうございます。新しい一年の幕開けを迎えましたが、お正月はいかがお過ごしでしたでしょうか。

年の初めは、何かを始めるのにぴったりの時期です。ウォーキングやストレッチなど、無理のない運動を日常に取り入れることで、体も心も少しずつ整っていきます。寒さの厳しい季節ではありますが、どうぞ体を冷やさないようお過ごしください。

本年も「きびっこ」では、皆さまの毎日が少しでも元気で楽しくなるような情報をお届けしてまいります。皆さまにとってこの一年が、健康で穏やかな日々で満ちあふれる年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。2026年もどうぞよろしくお願いいたします。(M・Y)



ホームページ



Facebook